

令和4年度
第1回 奈良県渋滞対策協議会

【最新交通状況】

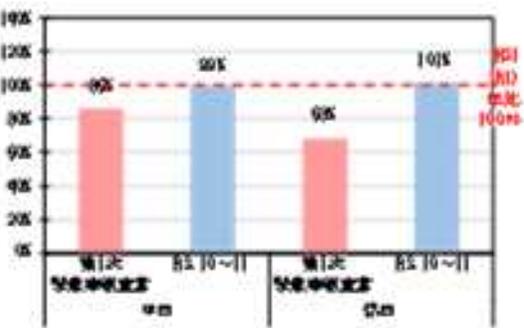
令和4年9月

① 主要幹線道路における交通量への影響 (平均日交通量※の推移)

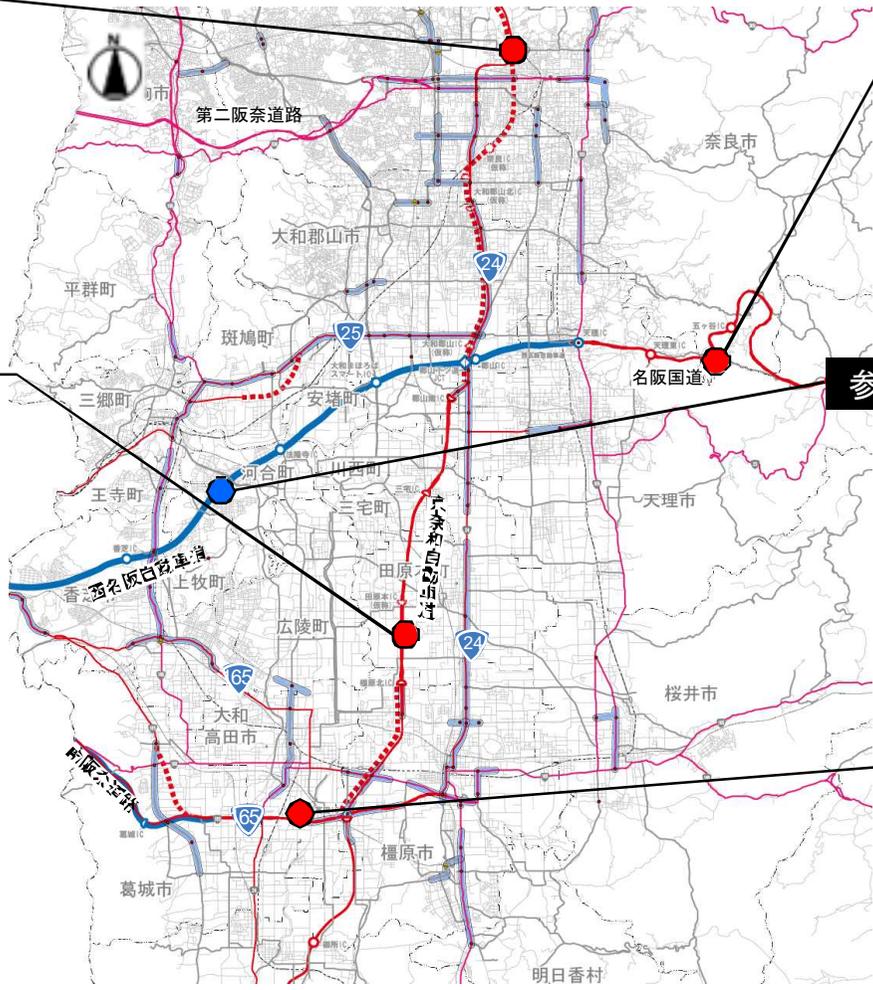
・主要幹線道路の交通量について新型コロナウイルス感染症拡大前(以下、コロナ前)の平成31年(令和元年)と比較すると、第1次緊急事態宣言中には、平日では90%前後、休日では70%以下となっている。
 ・令和3年秋期には、西名阪道の休日以外で95%以上となっており、コロナ前と同程度の交通量となっている。

[H31(R1)年との交通量比較]

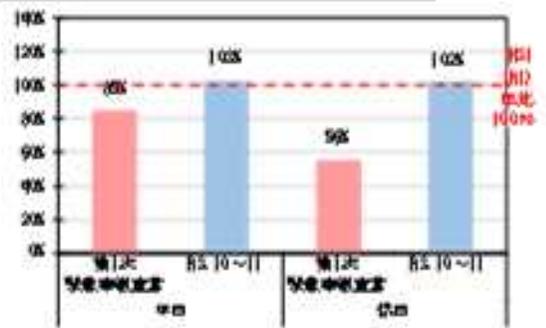
① 国道24号(奈良市法華寺)



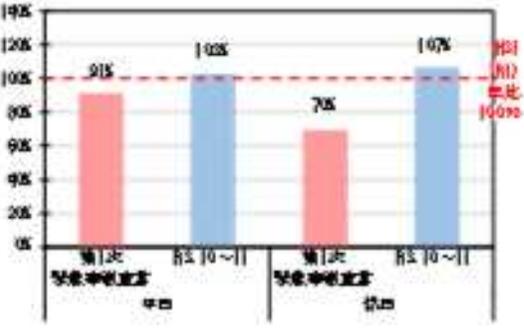
《直轄国道の交通量観測地点》



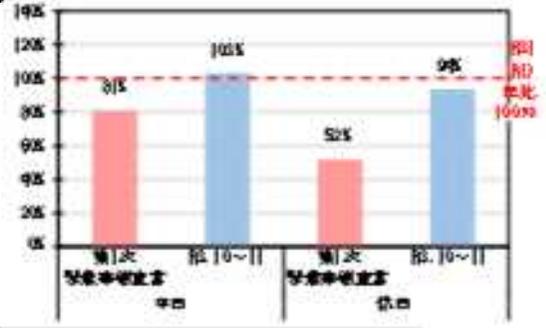
③ 名阪国道(五ヶ谷～天理東)



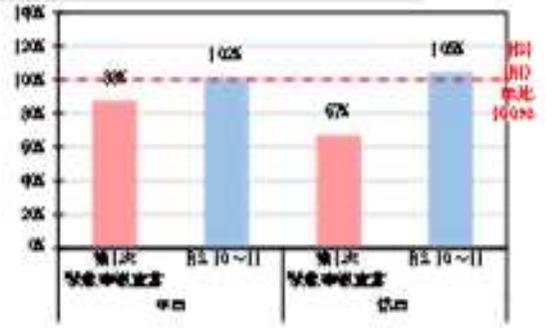
② 京奈和道(田原本～橿原北)



参考 《西名阪道(香芝～法隆寺)》



④ 大和高田BP(東室～勝目)

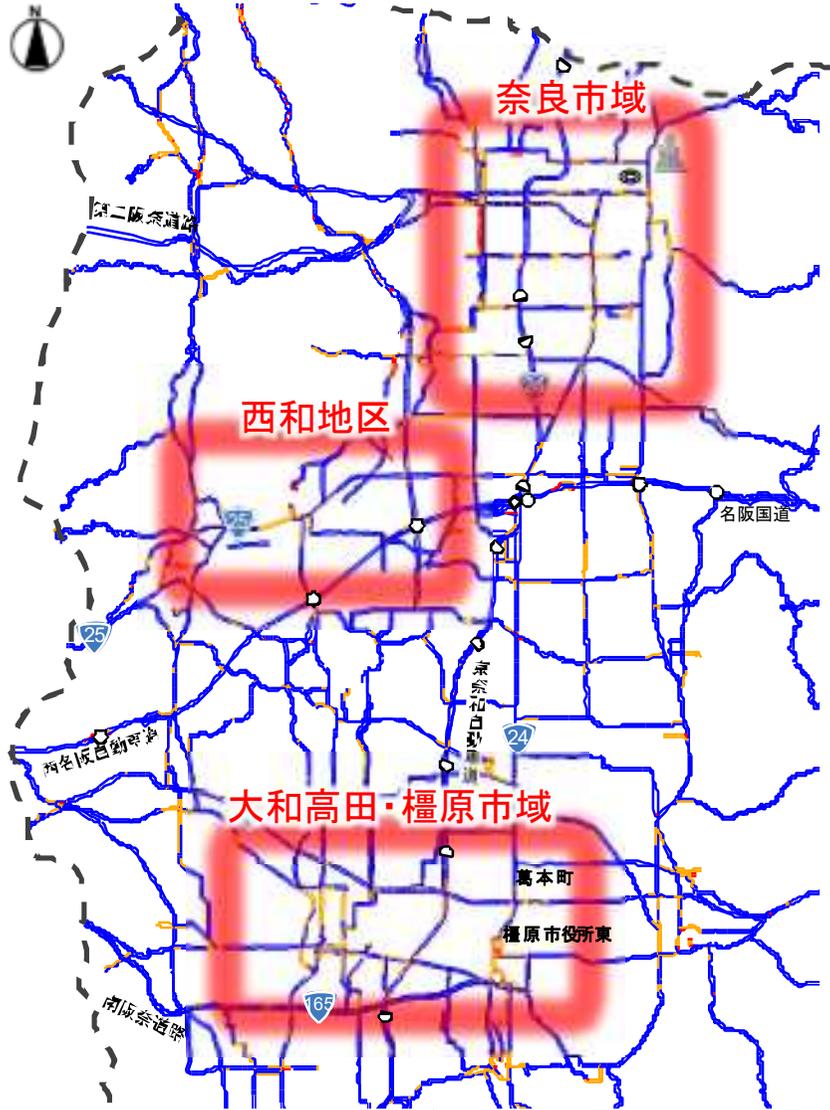


使用データ: 常時観測交通量データ(H31.1～R3.12)
 ※週単位で平均交通量およびH31(R1)年比を算出し、「第1次緊急事態宣言」「R3.10～11」の各期間でH31(R1)年比の平均値を算出した。

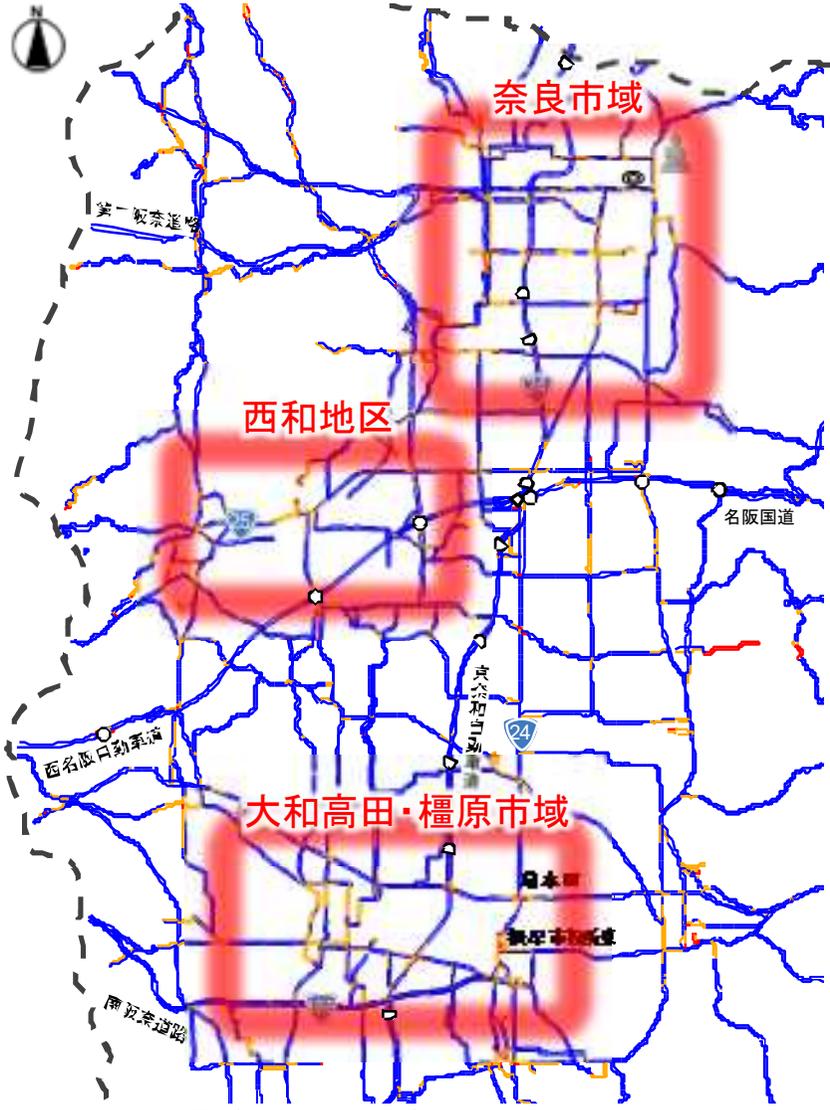
② 主要市域における交通への影響(コロナ前後の速度変化状況)

- ・ 普段交通が集中する「奈良市域」「西和地区」「大和高田・橿原市域」の主要路線について、コロナ前秋期と令和3年秋期の速度を比較すると、令和3年秋期もコロナ前秋期と同様に旅行速度が低下している状況である。
- ・ 令和3年秋期には新型コロナウイルス感染拡大やそれに伴う外出自粛等の影響が緩和し、各地域の速度低下状況がコロナ前と同程度になったことが想定されることから、それぞれの地域についてコロナ禍前との交通量の比較を行った。

《コロナ前秋期(R1.10~11)の平均速度》



《令和3年秋期(R3.10~11)の平均速度》



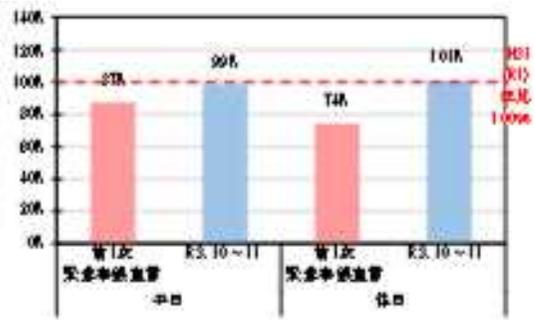
凡例	
Red	10km/h以下
Yellow	10km/h~20km/h
Blue	20km/h以上

②主要市域における交通への影響(奈良市域の平均交通量※の推移)

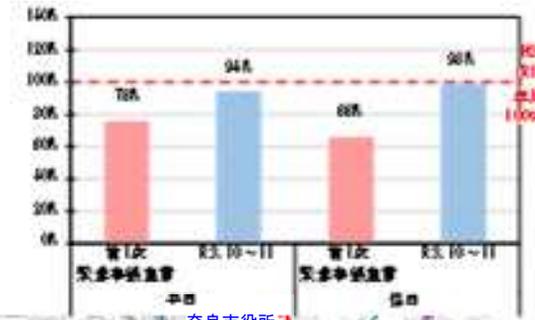
・奈良市域の交通量について、コロナ前と比較すると、第一次緊急事態宣言中には平日では80%前後、休日では70%前後に減少している。
 ・令和3年秋期には、国道369号(東西方向)および木津横田線以外で95%以上となっており、コロナ前と同程度の交通量となっている。

[H31(R1)年との交通量比較]

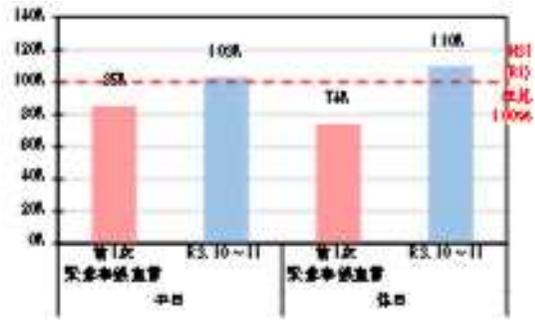
①奈良生駒線【東西方向】



④国道369号【東西方向】



⑤国道369号【南北方向】

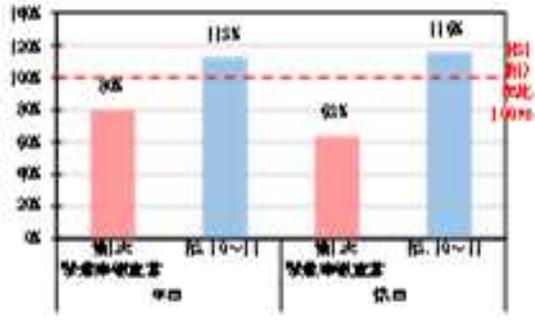


使用データ: 断面交通量情報(H31.1~R3.12)
 (公益社団法人日本道路交通情報センター)
 ※週単位で平均交通量およびH31(R1)年比を算出し、「第1次緊急事態宣言」「R3.10~11」の各期間でH31(R1)年比の平均値を算出した。

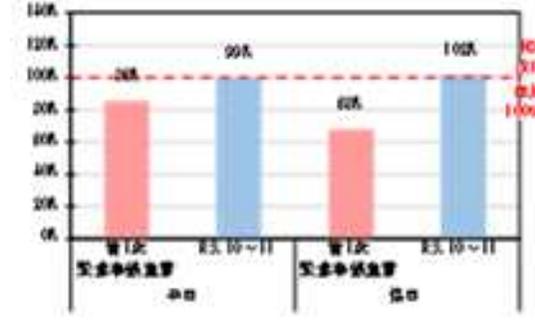


凡例
 ① 高速道路
 ② 直轄国道
 ③ 補助国道
 ④ 主要地方道
 ⑤ 県道
 ⑥ 交通量計測断面

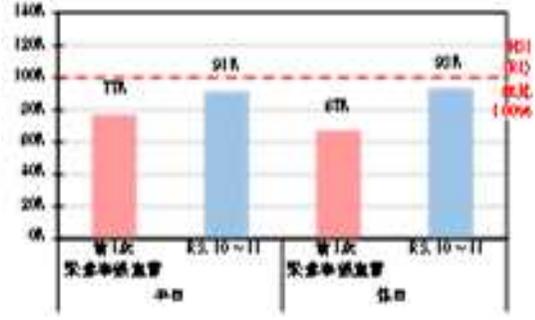
②国道24号(下三橋町付近)【南北方向】



③国道24号(法蓮町付近)【南北方向】



⑥木津横田線【南北方向】

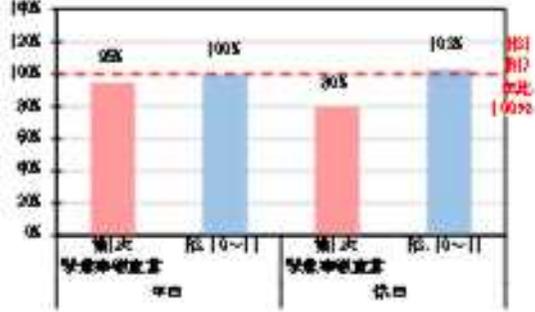


②主要市域における交通への影響(西和地区の平均交通量※の推移)

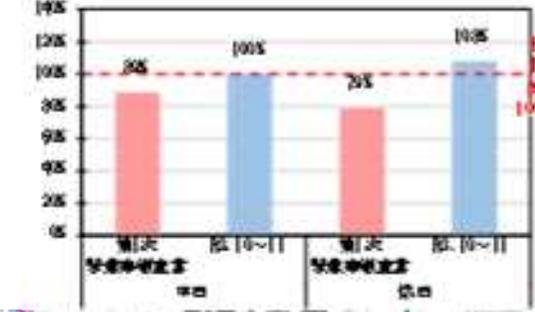
・西和地区の交通量について、コロナ前と比較すると、第一次緊急事態宣言中には平日では90%前後、休日では80%前後に減少している。
 ・令和3年秋期には、いずれの地点でも95%以上となっており、にコロナ前と同程度の交通量となっている。

〔H31(R1)年との交通量比較〕

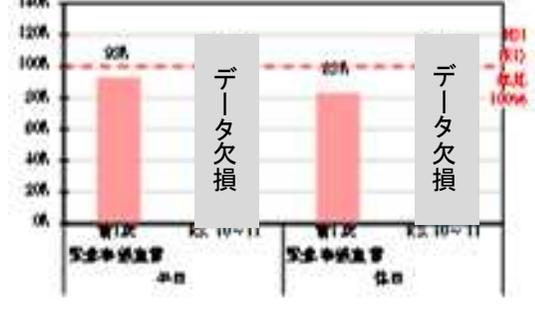
①国道25号(王寺町付近)【東西方向】



②国道25号(斑鳩町龍田西付近)【南北方向】

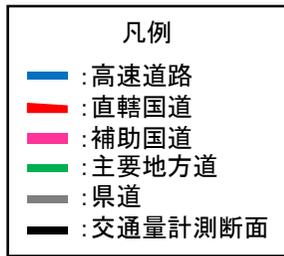


④国道25号(斑鳩町法隆寺西付近)【東西方向】

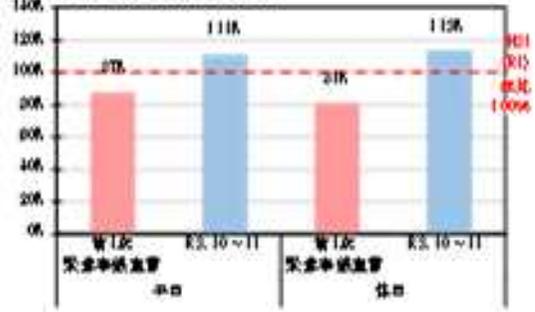


使用データ: 断面交通量情報 (H31.1~R3.12)
 (公益社団法人日本道路交通情報センター)
 ※週単位で平均交通量およびH31(R1)年比を算出し、「第1次緊急事態宣言」「R3.10~11」の各期間でH31(R1)年比の平均値を算出した。

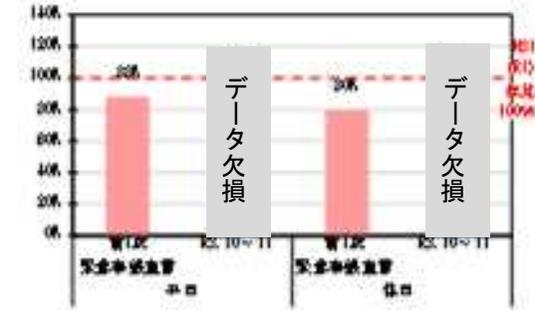
※地点④および地点⑤については2021年2月上旬以降データ欠損が見られたため集計対象外とした。



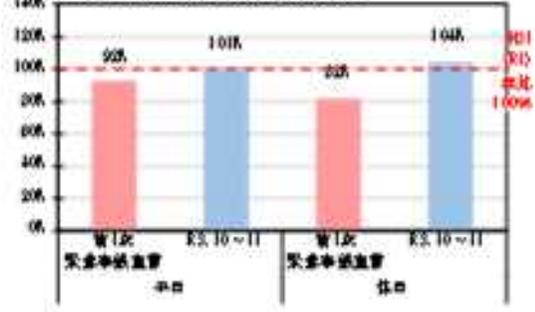
③信貴山線【東西方向】



⑤大和高田斑鳩線【南北方向】



⑥奈良大和郡山斑鳩線【南北方向】

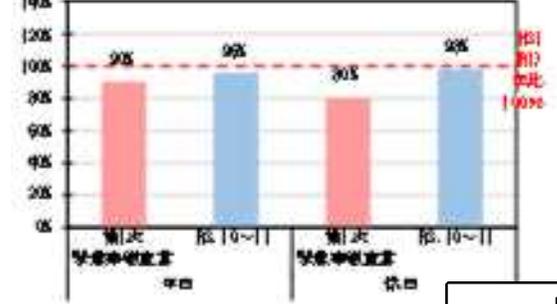


②主要市域における交通への影響(大和高田・橿原市域の平均交通量※の推移)

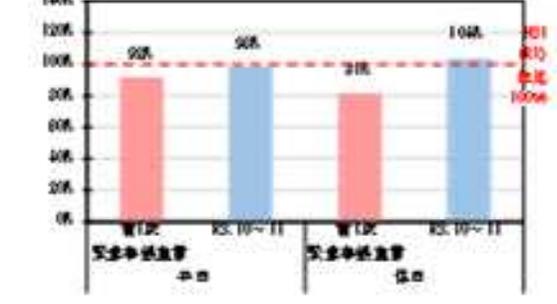
・大和高田・橿原市域の交通量について、コロナ前と比較すると、第一次緊急事態宣言中には平日では90%前後、休日では80%前後に減少している。
 ・令和3年秋期には、いずれの地点でも95%以上となっており、コロナ前と同程度の交通量となっている。

〔H31(R1)年との交通量比較〕

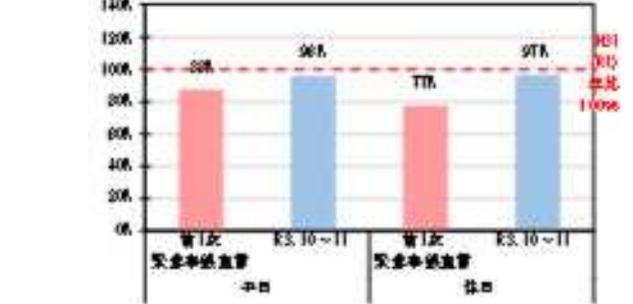
①国道166号【東西方向】



②中和幹線【東西方向】

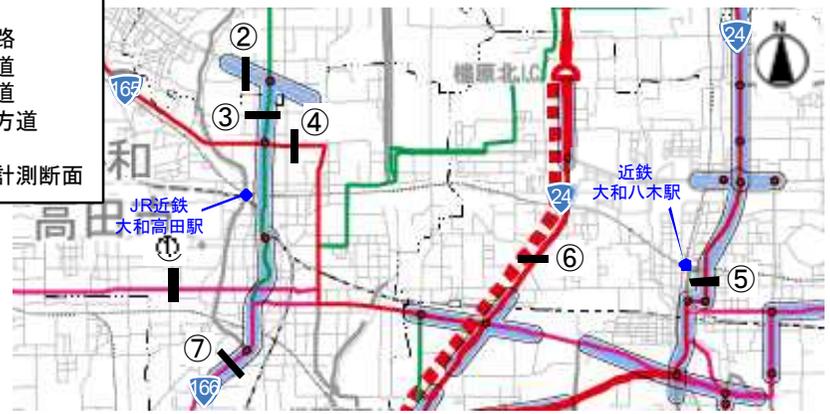


④国道165号【東西方向】

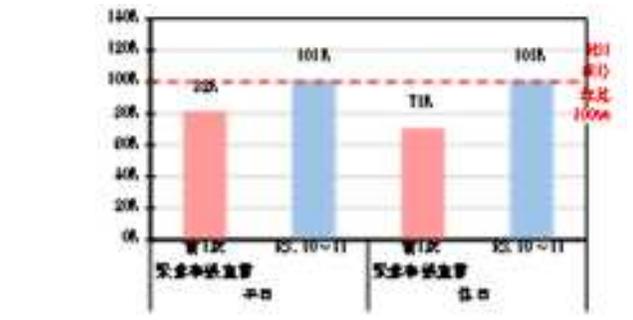


凡例

- 高速道路
- 直轄国道
- 補助国道
- 主要地方道
- 県道
- 交通量計測断面

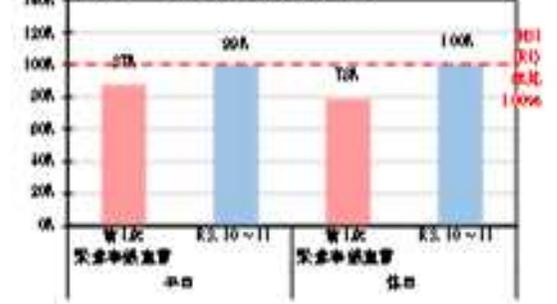


⑤国道24号【南北方向】

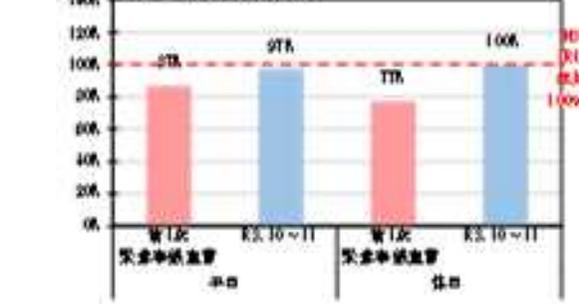


使用データ: 断面交通量情報 (H31.1~R3.12)
 (公益社団法人日本道路交通情報センター)
 ※週単位で平均交通量およびH31(R1)年比を算出し、「第1次緊急事態宣言」「R3.10~11」の各期間でH31(R1)年比の平均値を算出した。

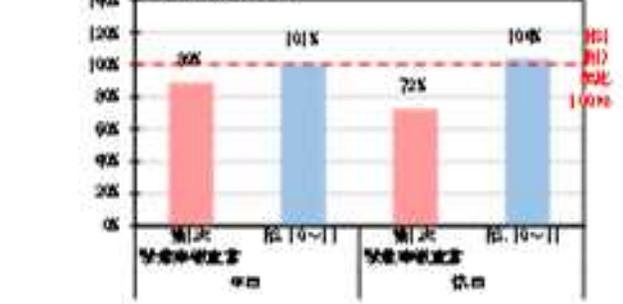
③大和高田斑鳩線【南北方向】



⑦国道166号【南北方向】



⑥国道24号【南北方向】



交通量状況とりまとめ概要

- ①令和2年4月～5月の第1次緊急事態宣言中は、新型コロナウイルス感染症拡大前の平成31年（令和元年）の同時点と比較し、軒並み交通量は減少。
- ②県内主要路線における旅行速度に着目すると、令和3年秋期においてコロナ禍前と同様に速度低下が発生。
- ③令和3年秋期については、ほぼすべての地点で交通量が95%以上まで回復。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した交通量は、令和3年秋期において概ね回復していることから、令和3年秋期のデータを使用することによりモニタリングを実施。